

シリーズで、市が誇る優れた技術や人物などを有する企業を紹介します

シリーズ ⑳

株式会社吉兆楽

〒949-6366 南魚沼市君沢 156 番地 1
 ☎ 7 8 3 ・ 3 0 7 0 FAX 7 8 3 ・ 3 0 9 0



雪の冷気を利用して、一年中おいしい米をお届けする

平成8年に創業し、日本一の米を生産者から仕入れ、県外のお客様に直接販売する産地直送ビジネスを行っています。もっとおいしい米を求めて、平成20年3月に利雪型米倉庫「雪蔵倉庫」を完成させ、高付加価値化に成功。百貨店、通販、高級スーパーなどに卸しています。現在、営業部・製造部・営農部・事務部の4部門で24人の社員が働き、部門間で連携を図りながら仕事を進めています。

創業25年目を迎え、よりおいしい米を届けるため、新しい発想のもと新工場の建設計画を進めています。南魚沼産コシヒカリのおいしさをさらに引き出せるよう技術を磨き上げ、食卓の会話が弾むような楽しい空間を提供する会社をめざしています。

今の仕事や職場について語っていただきました



林市長



次世代につなぐ社員
ひがしかど ひかる
 東角 光さん

市長 Iターンで南魚沼市に移住したそうですね？

東角 以前は大阪府の物流会社に勤めていたのですが、現在の社長と縁があって南魚沼市へ引っ越ししてきました。その上、南魚沼市出身の妻と出会うことができ感謝しています。

市長 どんな仕事をしていますか？

東角 製造部に所属しています。精米が主な作業になりますが、効率的な作業ができるように工程管理を行い、品質管理も行っています。

市長 職場の魅力はどんなところですか？

東角 売上げを伸ばすという目標に向かってひたむきに働く職員を評価してくれることと、若い人のチャレンジを応援してくれることが魅力です。また、計画の中の新工場では、海外への輸出事業にも力を入れるため、国際規格が取得できる設備を整備し、販路拡大をめざせることも魅力に感じています。

市長 米のイメージ戦略はありますか？

東角 値段が高くてもそれに見合った価値があれば買う人がいます。「南魚沼産コシヒカリ」というブランド力を磨いていくことで一定の需要を維持することができ、その魅力に引き付けられて移住や農業をやりたい人が出てくることにつながっていくと思います。

市長 市に期待することはありますか？

東角 雪の利活用をPRするような施設を建設していただきたいです。その施設を拠点として、観光客に雪室や米、酒など南魚沼市の魅力を幅広く知ってもらえるのではないかと思います。

市長 今後の目標を教えてください。

東角 おいしい米を届け続けてブランド力を上げ、社員にも喜んでもらえるような企業にしていきたいと思っています。



左：林市長、右：東角さん